

NEWS RELEASE

平成22年8月27日

国土交通省中部地方整備局

1. 件 名： 平成23年度予算概算要求に関する
中部地方整備局関係事業の主要事項について
2. 概 要： 平成23年度予算概算要求に関する中部地方整備局関係事業の主要事項についてお知らせします。
3. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ
名古屋港記者クラブ
4. 問合せ先： 国土交通省 中部地方整備局
＜ 総 括 ＞ 企 画 課 長 荒川 泰二 電話 052-953-8127
会 計 課 長 中田 修一 電話 052-953-8135
＜ 都市・住宅関係 ＞ 都市整備課長 尾上 佑介 電話 052-953-8573
住宅整備課長 中崎 ふじの 電話 052-953-8574
＜ 河川関係 ＞ 河川計画課長 井樋 世一郎 電話 052-953-8148
＜ 道路関係 ＞ 道路計画課長 梅村 幸一郎 電話 052-953-8168
＜ 港湾関係 ＞ 港湾計画課長 清水 崇 電話 052-651-6463
＜ 海岸関係 ＞ 河川計画課長 井樋 世一郎 電話 052-953-8148
港湾計画課長 清水 崇 電話 052-651-6463
＜ 官庁営繕関係 ＞ 計 画 課 長 井上 高秋 電話 052-953-8185

平成 23 年度予算概算要求に関する 中部地方整備局事業の主要事項



平成 22 年 8 月

国土交通省中部地方整備局

平成 23 年度予算概算要求に関する 中部地方整備局事業の主要事項

目 次

- 1. 平成 23 年度予算概算要求の基本方針 P. 1
- 2. 平成 23 年度予算概算要求のポイントマップ P. 2
- 3. 平成 23 年度予算概算要求の重点ポイント P. 3
- 4. 県別の主な直轄整備箇所一覧 P. 13

1. 平成23年度予算概算要求の基本方針

中部地方は、「日本のロータリー」として新たな価値を生み出す個性と魅力ある圏域を形成するため、「中部圏広域地方計画※」で「日本のまんなか」から「世界のまんなか」と飛翔する将来像の実現を目指しています。

中部地方整備局では、この目標の達成に向けて効率的かつ効果的に事業を推進していきます。

中部圏の現状と課題

- 圏域内外との交流連携
- ものづくりを中心とした産業の集積
- 良好な環境の保全、環境との共生を目指した地域づくり
- 豊かな生活・歴史の再発見、継承と地域コミュニケーションの維持
- 自然災害への対応と安全・安心な生活の実現

中部圏の持続的発展に向けた戦略

中部圏の目指すべき将来像を実現するため、将来像の実現に大きな役割を果たす「交流・連携」、中部圏のさらなる発展の原動力となる「活力」、持続可能な社会を実現する「環境」、生き生きとした地域社会を実現する「暮らし」、人々のあらゆる活動の基盤であり前提条件となる「安全・安心」の分野ごとに発展戦略を策定しています。

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| I 交流・連携 | 中部圏の資源を活かした国内外の多様な交流の拡大 |
| II 活 力 | 世界のものづくりの中心地としての産業競争力の強化 |
| III 環 境 | 持続可能な環境共生社会を実現する環境先進圏の形成 |
| IV 暮らし | 誰もが生き生きとして暮らせる地域社会の実現 |
| V 安全・安心 | 安全・安心で災害にも強い地域づくり |

(参考)

※:中部圏広域地方計画（平成21年8月4日大臣決定）

国土形成計画法に基づき、平成20年7月4日に閣議決定された国土形成計画(全国計画)を踏まえ、土地、水、自然、社会資本、産業、文化、人材等を含めた、概ね10年間にわたる長期的な中部圏の国土づくりの指針。

2. 平成23年度予算概算要求のポイントマップ

重点戦略

- I 交流・連携 中部圏の資源を活かした国内外の多様な交流の拡大
- II 活力 世界のものづくりの中心地としての産業競争力強化
- III 環境 持続可能な環境共生社会を実現する環境先進圏の形成
- IV 暮らし 誰もが生き生きとして暮らせる地域社会の実現
- V 安全・安心 安全・安心で災害に強い地域づくり

※代表事業事例は枠の色で区分

◆木曽川上流〔綾里地区〕河川改修事業



平成20年9月豪雨により浸水被害を被った杭瀬川において、堤防整備を実施。

◆国道475号東海環状自動車道 ◆国道302号名古屋環状Ⅱ号線



物流拠点へのアクセス性を高める名古屋圏環状道路の整備を推進。

◆三遠南信自動車道 国道474号三遠道路 一部完成



三遠南信自動車道三遠道路
みょうごう
名号高架橋(仮称)
奥三河、北遠州、南信州地域の秩序ある開発・発展と地域交流を支える三遠南信自動車道の整備を推進。

◆天竜川ダム再編事業



佐久間ダム(昭和31年完成)
利水専用既設ダムである佐久間ダムを有効活用し、治水機能を新たに確保し天竜川中下流部の洪水被害の軽減を図るとともに、ダム貯水池への堆砂を抑制する恒久堆砂対策施設を整備し、洪水調節機能の維持を図る。

◆駿河海岸 海岸保全施設整備事業



有脚式離岸堤
侵食対策として、新たな技術開発による有脚式離岸堤を整備し、高潮、津波による被害から海岸を防護し、国土を保全。

◆由比地区地すべり対策事業



東海地震・豪雨等により、大規模な地すべり発生の恐れがあることに鑑み、地すべり機構の解析及び地すべり対策を実施し、日本の大動脈である国道1号・東名高速・JR東海道本線等を保全。

◆伊豆縦貫自動車道 一部完成 国道1号東駿河湾環状道路



伊豆半島部への高速交通サービスの提供、及び観光交通混雑の緩和を図る東駿河湾環状道路の整備を推進。

◆名古屋港 飛島南地区・鍋田ふ頭地区 国際海上コンテナターミナル整備事業 一部完成



中部地方におけるものづくり産業の国際競争力を強化するため、名古屋港の整備を推進。

◆清水港 新興津地区 国際海上コンテナターミナル整備事業



駿河湾地域におけるものづくり産業の国際競争力を強化するため、第2バース整備を推進。

◆近畿自動車道紀勢線 ◆国道42号熊野尾鷲道路 一部完成



観光などの交流を活発にし、医療・福祉・防災など地域住民の安全・安心を守る「命の道」づくりを推進。

◆宮川床上浸水対策特別緊急事業 完成

平成16年9月台風21号により大きな被害を被った宮川において、再度災害防止対策を完成。



H16年9月台風21号による出水・浸水状況

◆津松阪港海岸 完成

津地区(賛岐)及び三雲地区
ふるさと海岸整備事業



高潮等の浸水被害から地域住民の生活を守り、地域の魅力向上と地域住民に親しまれる美しい海岸(ふるさと海岸)の整備を推進。

◆交通事故対策



事故危険箇所を最優先に、死傷事故率の高い区間において重点的に交通事故対策を推進。

◆既存の社会資本ストックの機能維持

橋梁の耐震対策

東海地震発生時における信頼性の高い道路ネットワークを確保するため、緊急輸送道路における耐震補強対策を重点化して実施。

橋梁の長寿命化



国道1号白須賀高架橋(静岡県湖西市)



国道23号 町屋大橋(三重県桑名市)

鋼桁部腐食

定期点検等により施設の状況を適切に把握し、計画的・効率的に補修を行うことにより長寿命化及びライフサイクルコストの低減を図る。

3. 平成23年度予算概算要求の重点ポイント

1. 交流・連携

中部圏の資源を活かした国内外の多様な交流の拡大

中部圏の地域経済を牽引する都市圏の総合力向上、中部圏の文化、歴史自然、産業を活かした広域観光交流圏の形成等を図るための取組を進めます。

◆三遠南信自動車道 国道474号三遠道路

一部完成

奥三河、北遠州、南信州地域の秩序ある開発・発展と地域交流を支える三遠南信自動車道三遠道路の整備を推進します。



三遠南信自動車道三遠道路
みょうごう
名 号高架橋(仮称)の状況

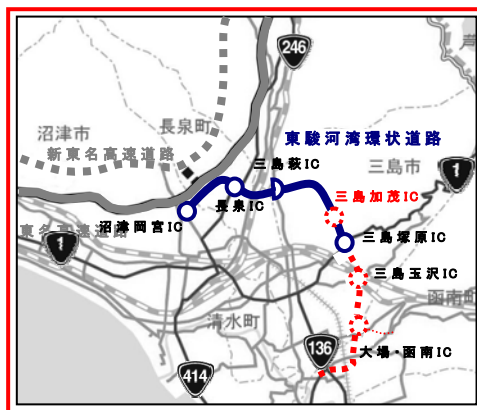
平成 23 年度は、^{ほうらい}鳳来IC(仮称)～^{いなさ}引佐JCT(仮称)区間について、年度内の開通を目指し事業を推進します。



◆伊豆縦貫自動車道 国道1号東駿河湾環状道路

一部完成

伊豆半島部への高速交通サービスの提供や観光交通混雑の緩和を図る伊豆縦貫自動車道東駿河湾環状道路の整備を推進します。 H21.7.27

東駿河湾環状道路
三島加茂 IC の状況

平成 23 年度は、三島加茂 IC の年度内の開通を目指しているほか、三島塚原 IC～大場・函南 IC 間の事業を推進します。

◆近畿自動車道紀勢線 尾鷲北IC(仮称)～紀伊長島IC(仮称)

◆国道42号熊野尾鷲道路

一部完成

三重県東紀州地域における観光交流の活性化や、防災をはじめ医療、福祉など地域住民の安全・安心を守る「命の道」として、近畿自動車道紀勢線、国道42号熊野尾鷲道路の整備を推進します。

平成23年度は、近畿自動車道紀勢線尾鷲北IC(仮称)～海山IC(仮称)区間について、年度内の開通を目指し事業を推進します。
また、国道42号熊野尾鷲道路の事業を推進します。



整備効果等

○三遠南信自動車道(飯田山本IC～天竜峡IC)【H20年4月供用】

→ 天竜峡IC周辺では企業立地が進み開通直後に全区画完売※¹するなど中山間地に新たに約600人※²の雇用を創出

※¹天竜峡エコパークファクトリー(飯田市)新産業ゾーン全5区画

※²飯田市調べ(5区画5社分の増加雇用)

○伊豆縦貫自動車道(沼津岡宮IC～三島塚原IC)【H21年7月供用】

→ 東名沼津ICから伊豆方面、箱根方面への利便性が向上するとともに、夏期観光時期においても、沼津岡宮ICから伊豆方面への所要時間が、開通前の国道1号経由と比較して最大で16分(31分→19分)短縮。

II. 活 力

世界のものづくりの中心地としての産業競争力の強化

ものづくり産業の国際競争力を支える基盤の強化、地域を支える産業の活性化・持続的发展 等を図るための取組を進め、産業集積を維持発展させていきます。

◆名古屋港 飛島ふ頭南地区国際海上コンテナターミナル整備事業

「ものづくり中部」における国際競争力を強化します。

スーパー中核港湾施策の一環として、伊勢湾における基幹航路ネットワークを維持拡大し、中部地方におけるものづくり産業の国際競争力の強化を図るため、名古屋港飛島ふ頭地区において、次世代高規格コンテナターミナルを整備します。

事業箇所：名古屋港飛島ふ頭南地区
(愛知県海部郡飛島村)

平成 23 年度は、コンテナ船の大型化への対応および震災時における海上輸送ルートを確認するため、航路(水深 16m)の整備を推進します。



名古屋港 飛島ふ頭南地区
国際海上コンテナターミナル

◆名古屋港 鍋田ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業

飛島ふ頭と連携した物流ネットワークを構築します。

名古屋港におけるコンテナターミナルの逼迫状況を緩和し、飛島ふ頭と一体となって名古屋港全体の取扱能力を高め、コスト・サービス水準の目標を達成するため、鍋田ふ頭地区において、水深 12m の国際海上コンテナターミナルを整備します。

事業箇所：名古屋港鍋田ふ頭地区(愛知県弥富市)

平成 23 年度は、岸壁(第3バース)、航路泊地等の整備を推進します。



名古屋港 鍋田ふ頭地区
国際海上コンテナターミナル

◆清水港 新興津地区国際海上コンテナターミナル整備事業

駿河湾地域におけるものづくり産業の国際競争力を強化します。

駿河湾地域におけるコンテナ拠点港である清水港において、外貿コンテナ貨物の増加や基幹航路のコンテナ船の大型化への効率的な対応が可能となり、物流コストの低減と駿河湾地域におけるものづくり産業の国際競争力の強化を支援するため、水深 15m の国際海上コンテナターミナルを整備します。

事業箇所：清水港新興津地区(静岡市清水区)

平成 23 年度は、岸壁(第2バース)、泊地、防波堤等の整備を推進します。



清水港 新興津地区
国際海上コンテナターミナル

◆名古屋圏環状道路の整備

名古屋都市圏の骨格を形成するとともに、中部国際空港や伊勢湾スーパー中枢港湾等の主要な物流拠点へのアクセス性を高める名古屋圏環状道路の整備を推進します。

●国道 475 号東海環状自動車道

平成 23 年度は、岐阜県大垣・養老地区で工事を実施するなど、西部区間全線で事業を推進します。

●国道 302 号名古屋環状Ⅱ号線

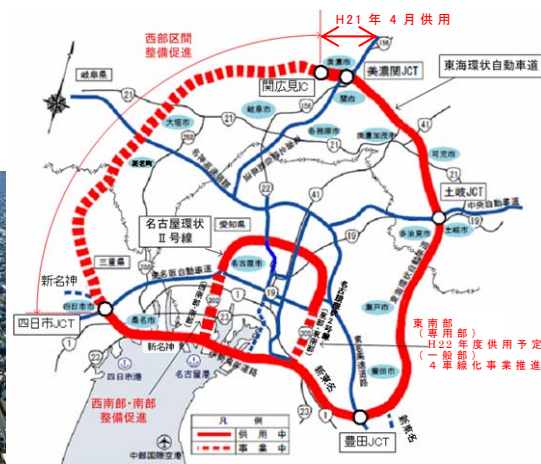
平成 23 年度は、東南部区間（一般部）の 4 車線化事業を推進します。



国道475号東海環状自動車道
大垣西IC(仮称)～養老JCT(仮称)



国道302号
名古屋環状Ⅱ号線
鳴丘地区



◆地方都市圏の経済活動を支援する道路整備

地方都市圏における良好な生活環境を創造するため、地域内外を結び地域の生活・経済活動を支える道路整備を推進します。

事業箇所：国道 1 号静清バイパス、国道 23 号中勢道路、
国道 23 号名豊道路（豊橋東バイパス、豊橋バイパス等）等



国道 1 号静清バイパス
昭府高架橋の状況



国道 23 号名豊道路（豊橋バイパス）
前芝高架橋（仮称）の状況

平成 23 年度は、工事、用地買収等を推進します。

整備効果等

○国道 302 号名古屋環状Ⅱ号線（桜木大橋北交差点改良）【H21 年 10 月供用】

→ 飛島ふ頭への入口である桜木大橋北交差点を先頭に伊勢湾岸自動車道本線まで及ぶ渋滞が整備により解消（最大 1,400m→0m）。ふ頭へのスムーズな物流が企業活動に貢献。

Ⅲ. 環境

持続可能な環境共生社会を実現する環境先進圏の形成

環境に対する新たな市民意識と様々な主体による環境への取組を継承し、豊かで多様な自然環境を未来に継承できる圏域づくり、地球温暖化防止の推進と循環型圏域づくりに向けた取組を進めます。

◆国道 23 号 愛知 23 号環境対策

国道 23 号名古屋南部地区において遮音壁、環境施設帯等の沿道環境対策を実施します。

事業箇所：国道23号名古屋南部地区



遮音壁設置例（愛知県名古屋市）



環境施設帯設置例（愛知県名古屋市）

平成 23 年度は、遮音壁、環境施設帯等の整備を実施します。

◆木曽・揖斐川河口部自然再生事業

川本来の姿をよみがえらせるため、失われた干潟やヨシ原を再生します。

事業箇所：木曽川、揖斐川（三重県桑名市等）

平成 23 年度は、水制工整備を実施します。



再生された干潟

◆伊勢湾 海洋環境整備事業

伊勢湾において、海洋環境の保全と航行船舶の安全のため、白龍はくりゅうによる浮遊ゴミ、油回収を実施します。

平成 23 年度は、浮遊ゴミ、流出油の回収や環境モニタリングを実施します。



海洋環境船「白龍」



流木回収状況



ゴミ陸揚げ状況

◆小渋ダム堰堤改良事業

天竜川上流域の治水を担う、小渋ダムの洪水調節機能を今後も維持させるとともに、土砂移動の連続性を確保する堰堤改良事業に取り組んでいます。

小渋ダムでは、貯水池上流からダム下流への土砂バイパストンネルを設置することで、洪水による流入土砂をバイパスし、小渋ダムの洪水調節機能を維持し、頻発する洪水から地域を守るとともに、土砂移動の連続性を確保します。

事業箇所：長野県下伊那郡松川町、大鹿村



土砂バイパストンネル イメージ図

平成 23 年度は、土砂バイパストンネル整備を推進します。

◆国営木曽三川公園

人々が自然とふれあい、スポーツなど多様な活動・交流を展開できる河川環境のある国営公園をめざします。



木曽三川公園センター
(岐阜県海津市)

東海広場
(愛知県愛西市)

平成 23 年度は、「ワイルドネイチャープラザ」(愛知県稲沢市)「(仮称)桜堤サブセンター」(岐阜県羽島市)の園路広場の整備等を行います。

整備効果等

○静岡1号西部環境対策(安新右折立体化)【H21年3月供用】

→ 渋滞が解消(240m→0m)したことにより、国道1号及び周辺道路※¹からの二酸化炭素排出量が約10%削減※²

※1 国道1号、浜松環状線、県道磐田細江線

※2 プローブ調査結果より試算 安新右折立体化区間柏木橋交差点～中野町IC交差点 L=800m

○木曽三川公園の整備【H21年7月ワイルドネイチャープラザの一部供用開始】

→ 昭和62年の開園以来、累計入園者数1億人を達成(H21年11月時点)。

IV.暮らし

誰もが生き生きと暮らせる地域社会の実現

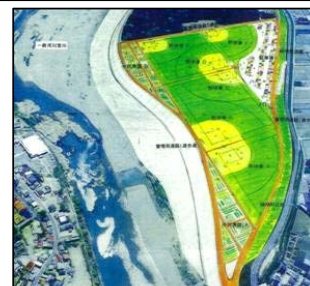
暮らしやすさを実感できる生活環境の向上や多様な主体による地域づくりの推進・コミュニティの再生、美しく暮らしやすい農山漁村の形成に向けた取組を進めます。

◆宮川伊勢地区水辺整備事業

伊勢市内を流れる宮川において、歴史施設や観光拠点の利用を促進するため、伊勢市のまちづくりと併せて河川空間を整備します。

事業箇所：宮川（三重県伊勢市）

平成 23 年度は、川端地区において、高水敷整正、緩傾斜堤防等の整備を行います。



川端地区完成イメージ

◆歩行空間の整備

人優先の安全・安心な歩行空間を形成するため、通学路等における交通安全対策やバリアフリー対策箇所の整備を実施します。

平成 23 年度は、国道 156 号曾代歩道整備（岐阜県美濃市）他において、通学路等の歩道整備、あんしん歩行エリアの整備を実施します。



整備事例：国道 41 号下呂市上呂地区

◆自転車利用環境の整備

自転車と歩行者の事故抑止を目指した安全な自転車走行空間の整備を実施します。

平成 23 年度は、国道 19 号桜通自転車道整備（名古屋市中区）において、自転車道の整備、自転車歩行者道における走行位置の明示等を実施します。



整備事例：国道 19 号伏見自転車道

◆津松阪港海岸 津地区（贄崎）及び三雲地区ふるさと海岸整備事業

完成

高潮等の浸水被害から地域住民の生活を守り、地域の魅力向上と地域住民に親しまれる美しい海岸（ふるさと海岸）の整備を推進します。

事業箇所：津松阪港海岸 津（贄崎）地区（三重県津市）、三雲地区（同松阪市）

平成 23 年度は、津地区（贄崎）及び三雲地区（鶴）で地盤改良工、本体工等を実施し、両地区の海岸堤防が完成します。



津松阪港海岸 津地区

整備効果等

○多治見税務署【H22 年 3 月完成】

→ 土地区画整理事業と連携し、新たな駅周辺整備におけるまちづくりの一部を担うとともに、既存施設の老朽・狭隘を解消し、地域の方への新たな行政サービス向上に寄与。

V. 安全・安心

安全・安心で災害にも強い地域づくり

適切な国土管理の推進と大規模災害に対する防災力の強化、災害等緊急事態発生時における危機管理体制の構築、交通安全対策の推進等、安全安心な生活環境の形成を図るための取組を進めます。

◆東海豪雨規模の洪水から名古屋圏を守る庄内川河川改修事業

名古屋圏に甚大な被害を及ぼした平成12年9月東海豪雨と同規模の洪水から名古屋圏を守るため、庄内川において河道掘削、築堤及び河積を阻害している橋梁改築を実施し治水安全度を向上させます。

事業箇所：庄内川（愛知県名古屋^{なごや}市）

平成23年度は、河道掘削及び築堤を推進するとともに、一色大橋特定構造物改築事業の完成を目指します。



◆宮川床上浸水対策特別緊急事業

完成

平成16年9月台風21号により大きな被害を被った宮川において、再度災害防止対策を完成させ、床上浸水被害を解消します。

事業箇所：宮川（三重県伊勢^{いせ}市）

平成23年度は、築堤、河道掘削等を実施し、年度内の完成を目指します。



◆木曾川上流〔綾里地区〕河川改修事業

平成20年9月豪雨により浸水被害を被った杭瀬川^{くいせ}において、堤防整備を推進します。

事業箇所：揖斐川支川杭瀬川（岐阜県大垣市）

平成23年度は、用地補償、築堤護岸を実施します。



床上浸水（杭瀬川右岸）の状況

◆天竜川ダム再編事業

洪水被害から、天竜川中下流部の沿川に広がる浜松市や主要交通網である東名高速自動車道や東海道新幹線を守るため、天竜川ダム再編事業を推進します。

既設の利水専用ダムである佐久間ダムを有効活用し、治水機能を新たに確保し天竜川中下流部の洪水被害の軽減を図るとともに、ダム貯水池への堆砂を抑制する恒久堆砂対策施設を整備し、洪水調節機能の維持を図ります。

事業箇所：静岡県浜松市天竜区佐久間町

平成23年度は、調査用進入路工事、排砂対策施設関連の調査、環境調査等を実施します。



佐久間ダム（昭和31年完成）

◆^{するが}駿河海岸海岸保全施設整備事業

侵食対策として、新たな技術開発による有脚式離岸堤を整備し、高潮、津波による被害から海岸を防護し、国土を保全します。

事業箇所：駿河海岸（静岡県焼津市^{やいづし}）

平成 23 年度は、有脚式離岸堤による侵食対策を推進し、高潮等による被害を軽減させます。



有脚式離岸堤

◆^{ゆい}由比地区地すべり対策事業

地すべり機構の解析及び地すべり対策を実施し、日本の大動脈である国道1号・東名高速・JR東海道本線等を保全します。

事業箇所：静岡市清水区由比^{ゆい}

平成 23 年度は、排水トンネル、抑止工（深礎杭・杭工）を実施します。



地すべりと併走する重要交通施設

◆交通事故対策

事故危険箇所を最優先に、死傷事故率の高い区間において重点的に交通事故対策を実施します。

平成 23 年度は、国道1号葵区南安倍交差点改良（静岡市葵区^{あおい}）他において、交通事故対策（右左折レーン設置、カー舗装、区画線、標識等）を実施します。



整備事例：国道1号
浜松市南区芳川交差点^{ほうがわ}

◆道路防災事業

異常気象時においても安全で信頼性の高い道路ネットワークを確保するため、道路防災対策を重点化して実施し、事前通行規制区間の早期解消を目指します。

平成 23 年度は、国道41号下呂市金山町^{げろしかなやまちょう}他において、落石・法面崩落防止などを実施します。



落石防護工による対策イメージ
（国道41号下呂市）

◆橋梁の耐震対策

東海地震発生時における信頼性の高い道路ネットワークを確保するため、緊急輸送道路上における耐震補強対策を重点化して実施します。

平成 23 年度は、国道 1 号白須賀^{しらすか}高架橋（静岡県湖西市）他において、橋梁耐震対策（橋脚補強工など）を実施します。



コンクリート巻立による
橋脚補強対策イメージ



国道 1 号 白須賀高架橋
（静岡県湖西市）

◆橋梁の長寿命化

社会資本の機能を維持・回復するため、定期点検等により施設の状況を適切に把握し、計画的・効率的に補修を行うことにより長寿命化及びライフサイクルコストの低減を図ります。

平成 23 年度は、国道 23 号町屋^{まちや}大橋（三重県桑名市）などの補修工事を実施します。そのほか、定期点検の結果、損傷度が高い橋梁について次回の定期点検（5 年後）までに橋梁補修を実施していきます。



鋼桁部腐食



国道 23 号 町屋大橋
（三重県桑名市）

◆既存官庁施設の危険箇所等の解消

官庁施設の整備については、今後老朽化した既存施設が増大していく中、既存官庁施設の有効活用を図りつつ、安全・安心の確保等に的確に対応します。

平成 23 年度は、地方合同庁舎 他において、来訪者等の安全確保や円滑な業務を実施するため、劣化した外壁や老朽化した設備機器等の改修を実施します。



劣化した外壁の状況

整備効果等

○安倍川緊急特定区間【H22 年 3 月完成】

→ 中小洪水時でも発生していた河岸洗掘による破堤等の危険性が解消

○狩野川床上浸水対策特別緊急事業（小坂排水機場【H22 年 3 月完成】）

→ 降雨確率 1/10 での床上浸水戸数 26 戸をすべて解消

4. 県別の主な直轄整備箇所一覧

【岐阜県内で実施する事業】

治水 関係	◆木曽川上流〔綾里地区〕河川改修事業 ◆木曽川〔美濃加茂地区〕水辺整備事業 ◆新丸山ダム建設事業 ◆本谷堰堤工群(木曽川砂防) ◆高地谷第一砂防堰堤(越美山系砂防)
道路 関係	◆中部縦貫自動車道 国道158号高山清見道路 ◆国道475号 東海環状自動車道 ◆国道41号 高山国府バイパス ◆国道19号 恵中拡幅(延伸) ◆橋梁予防保全対策 国道41号割石橋等 ◆防災対策 国道41号金山地区等 ◆国道156号曾代歩道整備
都市 住宅 関係	◆国営木曽三川公園 (仮称)桜堤サブセンター

【静岡県内で実施する事業】

治水 関係	H23完成予定 ◆狩野川〔下河原地区〕河川改修事業 ◆安倍川〔中島地区〕河川改修事業 ◆大井川〔牛尾地区〕河川改修事業 ◆天竜川〔池田地区〕河川改修事業 ◆天竜川ダム再編事業 ◆大谷山腹工(安倍川砂防) ◆由比地区地すべり対策事業
道路 関係	H23一部完成予定 H23一部完成予定 H23一部完成予定 ◆伊豆縦貫自動車道 国道1号東駿河湾環状道路 ◆三遠南信自動車道 国道474号三遠道路 ◆静岡東西道路 国道1号静岡バイパス ◆橋梁予防保全対策 国道1号白須賀高架橋等 ◆防災対策 国道1号島田地区等 ◆国道1号 中之郷電線共同溝 ◆国道1号葵区南安倍交差点改良
港湾 関係	◆清水港 新興津地区 国際海上コンテナターミナル整備事業(水深15m) ◆田子の浦港 中央地区 国際物流ターミナル整備事業(水深12m) ◆御前崎港 女岩地区 防波堤整備事業 ◆下田港 下田地区 防波堤整備事業
海岸 関係	◆駿河海岸海岸保全施設整備事業 ◆富士海岸海岸保全施設整備事業

【愛知県内で実施する事業】

治水 関係	H23完成予定 ◆庄内川〔岩塚地区〕河川改修事業 ◆庄内川 一色大橋特定構造物改築事業 ◆豊川〔一色地区〕河川改修事業 ◆矢作川〔下流地区〕河川改修事業 ◆豊川下流部自然再生事業 ◆設楽ダム建設事業 ◆矢作ダム堰堤改良事業
道路 関係	H23一部完成予定 H23一部完成予定 ◆三遠南信自動車道 国道474号三遠道路 ◆国道23号 名豊道路 ◆国道23号 愛知23号環境対策 ◆国道302号 名古屋環状Ⅱ号線 ◆橋梁予防保全対策 国道23号北頭高架橋等 ◆防災対策 国道153号豊田地区 ◆国道302号緑地共同溝 ◆国道22号枇杷島電線共同溝 ◆国道19号桜通自転車道整備
港湾 関係	◆名古屋港 飛島ふ頭南地区 国際海上コンテナターミナル整備事業(水深16m) ◆名古屋港 鍋田ふ頭地区 国際海上コンテナターミナル整備事業(水深12m) ◆三河港 神野地区 国際物流ターミナル整備事業(水深12m) ◆衣浦港 武豊北ふ頭地区 国際物流ターミナル整備事業(水深12m) ◆伊勢湾 海洋環境整備事業
都市 住宅 関係	◆国営木曽三川公園 ワイルドネイチャープラザ

【三重県内で実施する事業】

治水 関係	H23完成予定 ◆木曾三川高潮堤防整備 ◆宮川 床上浸水対策特別緊急事業 ◆雲出川〔元町地区〕河川改修事業 ◆木曾・揖斐川河口部自然再生事業 ◆宮川伊勢地区水辺整備事業
道路 関係	H23一部完成予定 ◆近畿自動車道紀勢線 尾鷲北IC(仮称)～紀伊長島IC(仮称) ◆国道42号 熊野尾鷲道路 ◆国道475号 東海環状自動車道 ◆国道1号 北勢バイパス H23一部完成予定 ◆国道23号 中勢道路 ◆橋梁予防保全対策 国道23号町屋大橋等 ◆国道1号日永地区歩道整備
港湾 関係	◆四日市港 霞ヶ浦北ふ頭地区 国際海上コンテナターミナル整備事業(水深 14m)
海岸 関係	H23完成予定 ◆伊勢湾西南海岸海岸保全施設整備事業 ◆津松阪港海岸 津地区(贄崎)及び三雲地区 ふるさと海岸整備事業
都市 住宅 関係	◆国営木曾三川公園 (仮称)七里の渡し地区

【長野県内で実施する事業】

治水 関係	◆天竜川上流〔飯田・伊南地区〕河川改修事業 ◆天竜川自然再生事業 ◆三峰川総合開発事業 ◆小渋ダム堰堤改良事業 ◆大河原床固工群(天竜川砂防) ◆北股沢床固工群(木曾川砂防) ◆入谷地区・此田地区地すべり対策事業
道路 関係	◆三遠南信自動車道 国道474号飯喬道路 ◆国道153号 伊南バイパス ◆国道19号 棧改良 ◆橋梁予防保全対策 国道153号不動沢橋等 ◆国道19号島の平下線交差点改良 H23完成予定